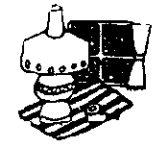


新年を迎えて

田沢中学校高道山分校
三年 富井 正平

もう、あれこれといつてと夢をみています。それは、新しい村づくりの夢です。いや希望です。そこで新年にあたり、僕は村の大人に対する望みを少し書き述べてみます。

まず僕は、背丈は家中で一番大きくなりましたが、これまでに育つて下さった父や母に感謝します。僕は新年といつても、何も大して考えず、ただ何日かを遊ぶことのみを楽しみとしており、そして夜みんなど大声をばりあげて、さわぎたてて楽しむのが例であり、僕は一年中で一番好きなのがお正月でありました。それが又やつて来て、みんな新年にあたり、思いの感情をいだいていることでしょうか。僕はいつもの年ですと、別に計画や希望とあらたまつて考えたこともありません。ただ遊びでいいました。



雑感(その二) すっぱい葡萄

貝野中学校長 徳永泰三

吾々は自分だけで生活しているのではない。自分が一生懸命に努力しているように、社会の人も皆よりよい生活を営むために日夜心を砕いているのである。然し時には自分より隣人の方が巧者であり、生活能力が優れているように見えることがある。こうした場合に自分と隣人を比較して、他人が少しでも劣つていて、他人が少しでも優つていて、人間の弱点をむき出しに嫉妬したり、難癖をつけて非難し、何とかして自分

年頭の辞 求めて若く 明るく

村長 高橋 幸作



平和な新年を迎えまして御同慶に耐えませんが、心から新年の御祝辞を申し上げます。

送る日に一応けじめをつけ、新しい希望をもつて迎える正月にあつては誰しもが反省と新しい計画について、普段の時とちがつた何かしら具体的な考えをもたれることであるが、等しく一万の中里村民が豊かで、常に若々しい、そして明るい村でありたいと願うことは、かわらないことであるかと思われず。このような楽土中里村を建設



新 年 行 所 館 民 所 館 中 里 村 公 民 館 十 日 刊 刷 新 社

今年一月一日からの集會には、時間をきめ必ず守るようになり、僕達が卒業する時には、きまりよい部署にするようお願い致します。まだ、沢山ありますが、新年早々あまり悪いことばかり云うのも悪いし、僕の考えのまちがっているところもあるかもしれませんが、このくらいにしますが、新年に當つて僕のささやか

テレビ入る!!

公民館ではかねてよりNHK新潟テレビ放送の開始をまつて、テレビを購入する計画でいたが、放送も開始されたので、十二月十三日全放連指定の七時東芝テレビを入れた。この利用方法は、公民館の各種学級と学校教育へ開放することになつていて、正月中は一般に公開し、その後は昼間に限り六十才以上の年より三人以上、又その他の人は十人以上がまとまつて要した場合は、教育番組についてのみ開放することになつていて。

一件々々

昭和猪年元旦
日俳中里支部一同
支部長 井ノ川桂仙
淑節や老徳猪実の計を立て
山本 泉芳
耳目化石となんめ大初日拜
武田 一声
ぞろぞろと島田パーマの初詣り
加瀬田秋陽
寧日を生きてし生きむ初動
岡村 春雷
初笑い嫁子の背より受け止
上原 紫紅
元朝や宗谷の船路徳はる
滝沢 峰月
駆け抜ける子等の足音ドン
井ノ川川流
下燃え
ネクタイのモード廻礼屠蘇
関口 哲仙
胎子の予定をめぐる初暦
ひととせを神籤に托し語初
妻有野は噺かがやく初化粧

私はこの年頭にあたり次の二三のことを心得て、研究もし、具体的に計画をして実行に迄進めたいと思ひます。

◇立派で大きな夢を持った夢を持つても仕方がないといふことで、これを投げ出してしまえばそれ迄のことであるが、夢は裏づけのない単なる夢であつてはならない。反省の上に立つた具体的なものであり、実行に移されるものであり、又移せないものであつても一歩でもそれに近づこうとするたゆまざる努力が伴わなければ意味が少くない。立派な夢を描くことは必要であると同時に、私も大きな夢の中に立派な中里村建設につくしたい。

◇周到にして細密の計画をたてる。

何時も総てが直接みなさんに関係を持つ行政であり、事業であるので、少なくともみなさんの御迷惑に当ることであるとしたら大変なことであります。事に当

賀正

中里村公民館

館長 大島 孝平
副館長 板橋 龜治
齋藤 大馨
高橋 寅次
村野 利雄
村田 信治
樋口

中里村教育委員会

委員長 藤田 五郎
委員 村山軍英
委員長職務代理者 阿部 英一
委員 樋口与三郎
委員 鈴木 寛一
委員 小柳 定夫
書記 大島カツミ
事務係 樋口 和一
学校教育係
社会教育係

中里村議会

議長 広田 重政
副議長 高橋 門吉
議員 井ノ川三之助
小巻沢 馨
阿部 友重
南雲 長一
南雲 仁吉
山本 善信
鈴木 一郎
井ノ川佐平治
高橋 源平
服部 安治
樋口 順之
山田 金松
上原 貞策
齊藤 政治
藤田 宇一
大島 弥太郎
山口 太一郎
南雲 吉之助
柳 良作
中島 喜藏
樋口 勉治
中島 善太郎
藤ノ木 利一
井ノ川 三平
鈴木 謙吉
河部 一郎
川田 朝一
広田 孝
(議席順)

相手の身になつて



山内正豊

「四海波静かにて、困も治まる時津風」と御祝儀も濟み、色直しも滞りなく、花婿花嫁は屏風の内に納まる。床の間に置かれては、尉と姥互いに顔を見合せて、尉が、「これ、あれを聞きや。お定りとは言ひもの、あんな事を見たり聞いたりすると、昔を思い出しておかしき手をとれば、姥ふり放し、

「何を言わんや、あの衆達は皆若いわいのう」これは「上には上」と云う小ばなしである。千年も万年も生きながらいても、新婚風情で刺激される位の若さをいつまでも保ちたいと云う願いを込めての艶笑小咄を一席新春早中里の皆様に送り致します。明けましておめでとうございませう。中里村の皆様にとつては、ことしは大変おめでた続きの年であるように祈念して止みません。それに、合併がよく結婚ばなしにたとえられるのですが、田の人達が皆んな揃いも揃って良縁を得て、新家庭を作つてしまひましたのに、中里と水沢だけが三年も前に足入れをしたつきり、許婚の間柄でありながら、婚前交際も巧く出来ないで来たやうな形です。よく昔から「婚約の長きは破談のもと」と云ひまわつて、約束が出来て、手打ちが決つたら、下手なケチがつかない間に速く結婚した方がいいとされて参りました。言ひなれば、中里と水沢の合併は、「永すぎた青春」のように感じられてなりませぬ。でもこの四月には約束の期限が参りますので、双方ともきれいなさつぱりとつめたい田来の意地や見栄や御座りな「窓」のように、お互いの心の窓を開け放つて、めでたく合併の宴を予定通り結んで頂くことを衷心から祈願して参ります。

新春への随想

富永ひさお

月日は百代の過客にして行きかゝる年もまた旅人なり。舟の上を生涯を浮べ、馬の口とらへて老いをむかふる者も、日日夜夜にまわつた旅をすまかんとす。芭蕉の奥の細道の冒頭の文だが、灰色の空ともにも雲が降り、雪が落ちる暮れが押し迫つて来ると、一床の寂しさを味わうのは老人だけであらうか。しかし、そうしたもの寂しさも、心せく反省も一夜明けた新春を迎へることに因つてガラリと変つてしまふ。

詩

新年のとうちゃん

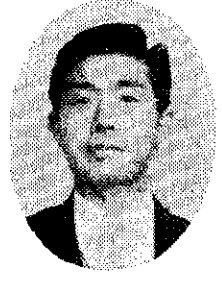
樋口ミチ子

毎目しわくちやな洋服を着てゐるとうちやんがめずらしくアイロンのかかつた洋服を来ていた。「とうちゃんむりすねね」といつたらとうちやんは少しはずかしそうに「あんまりひやかすもんじやないぞ」とよそむいていつた

年頭にあたり

一年の計

藤田五郎



多事多難であつた昭和三十三年を送り、芽出度く昭和三十四年の新春を迎へるにあたり、謹んで年頭の辭を申し上げたいと思ひます。昔からよく「一年の計は元日にあり」とやら申します。西洋でも元日は「一年の鍵なり」と云つています。それではどんなふうにして一年の計を立てたらよいかと申しますと、どなたでも一寸即答出来ずにとまどうことだと思ひます。私は教育委員長として約一ヶ年村内の教育面、特に村内の社会教育の面には非常に興味深く触れて参りましたので、村内事情の中、特に個々の家庭環境にも勿論無関心ではあり得ないのであります。そこで私がまず原則的に一

年の計に於いて参考となれば幸と思ふことを次に述べてみたいと存じます。私は一年の計としてまず何処の家庭でも一様に取上げて頂きたいことは、次の三つの事でありませぬ。即ちどうしたら今年一年を健康で過すことが出来るか。第二にはどうしたら今年一年を家庭円満に過すことが出来るか。第三には、どうしたら今年一年を経済的により弾力性を持たせることが出来るかという三つであると思ひます。まず第一の健康の問題につきましても医学薬学の進歩によりまして、相当重い病氣でも特殊の病氣以外はまず治すことが出来る時世になりましたので、この点に於いて有難いことと申さねばなりません。さりとて不摂生をなして取り返しつかぬ体になつてしまふやうな生活態度を正しくして、日常の生

室内ゲーム紹介



お正月お友達やお家族皆さんで炬燵を囲み、楽しめ簡単なゲーム遊びを、二紹介致します。一、奇数か偶数か。全員にビーナツ(又は大豆)を渡します。男性はビーナツを掌中にかくして、女性に近づいて「奇数ですか?偶数ですか」と聞きます。もし女性が奇数か偶数かを正確にあてたら、女性はビーナツをもらい、男性は女性に分をもらいます。一定時間に一ばんたくさん

肉ヅケの技術 (其二)

中部地区農業改良普及事務所
樋口虎治郎

肉ヅケの期間は資質のよくない牛を長く飼つて一六〇日に太らせても、よい肉はできず、そのため価格は安い。また老廃物が多い肉に仕上げることはむづかしい。去勢牛も、現在の価格では長期飼育肉ヅケは採算がたねなくなる。大体この地帯は、大衆肉をねらつて一〇〇日程度の短期か、せいぜい一五〇日程度の中期の肥育がよい。これは牛の肉ヅキによつて加減することだ。

年令は四、六才が最もよく、オスよりメスがよいが早期に去勢した牛ならメスと大差ないよい肉が生産されると云う。

次に肉ヅケ期間は三、四三の割合に三期にかけて行う。給与量のおよその標準は次の通り。

期別	日数	濃厚飼料	米ヌカ	粗飼料	配合割合
初期	30日	一貫四〇〇	二〇%	三〇%	二〇%
中期	40日	一、七〇〇	二〇%	四〇%	二〇%
後期	110日	一、九〇〇	二〇%	三〇%	五〇%

蒟蒻研究発表会



郡内唯一といわれる当村の蒟蒻組合では、十二月十二日正午から貝野に於いて

リポートから 山田孝吉 中国初期鉄器文化の特色

中国に於いて鉄器が使用されたのは春秋戦国時代とされている。鉄製農具の出現は、鉄の使用は、古代各国に於いて何れも一大革命といふべき意義を有するものであるが、中国に於いては、鉄製農具の使用が完全なものであり、耕地面積は拡大し、収穫は急激に増大した。富の蓄積は貨幣経済の

発展をうながし、商工業の隆盛と相まつて、都市の繁栄と国家の富強をもたらした。一時停滞していた中国古代文化は飛躍的な発展を遂げ、漢以後の文化を造り上げるのである。

鉄には鍛鉄と鑄鉄の二種がある。鍛鉄は炭素の含有量が少ないので、鍛造用として用いられる。鑄鉄は炭素の含有量が多く、非常に脆く、刃をつけることが出来ず、鋳造用として農具などを製造するのみに用いられる。両者はその性質が違い、又発展の様相を異にするのであるから、鉄の歴史を明らかにする為には、どうしてもこれらを個別に取扱わなければならない。

大抵鉄は酸化し易い金属で、青銅のように残つていない。青銅の骨董価値が低いこと、及び骨董価値が低いこと、この二つの大半は鑄鉄製品である。この様に鑄鉄が多く使われたという事は、鑄鉄の欠点である脆弱性という問題を含み、したがって武器としては使用に不適当なものであり、農具として庶民の間に普及して行つたことを裏付けている。支配階級はむしろ青銅

製器をよく使用していた。武器としても、春秋時代末に青銅製品がもつたら使われていたのである。この点が、鉄器が使われたと、鉄製武器をもつて覇を争い、青銅製武器を駆逐してしまつた西洋と異なる点である。この時代を東亜銅鉄過渡時代というのも以上の理由によるのである。

しかし庶民の間では、安価な鉄器が愛用され、史記の貨殖列伝にも戦国から漢初にかけて、鉄冶を以つて産をなしたものが多かつたことを伝えている。

- 農業協同組合**
 中里村 組合長 広田 要吉
 専務 上原 国一
 事務 村山 正二郎
 外理事職員一同
- 中里村倉庫**
 組合長 高橋 熊蔵
 専務 藤ノ木 利一
 會計主任 鈴木 佐十郎
 外理事職員一同
- 中部農業改良普及事務所**
 主任技師 山家 庚一
 技師 高野 林平
 樋口 虎治郎
 永井 秀雄
- 田沢開拓**
 組合長 外山 進一
 外理事職員一同

年頭の辞

中里村公民館長 大島孝平



多忙の中に年去り昭和三十四年を迎えることの出発点となりました。誠に改めてたいこととあります。ここでお互が過去を省り、新しい対策をたてられたことと思ひます。

さて望月優子という映画女優が「本日臨終だれ」という事を座右銘にしてあるというが、派手な女優生活をしていくのが明日を望まざるその日に満足して死んでもよいという心掛けは私達の学ばべきところである。明るい村、住みよい郷土の建設はなかなかむづかしい。自分の村だけを考へても外より寄せてくる流波の処置は如何にすべきだろうか。

日本は敗戦国で今、国民が一致協力して再建に努力して、なおよその国並みにはなれないのだ。吾々の人格はこれで完全と言ひ得

あつた。五月十一日母の日の記念式には、毎日「台所」の隅でお働きのお母さん方に対して子供さんから感謝の言葉とカーネーションをおくり無聊に苦しむ年寄りに対しては五地区別に分けて敬老会を行い、婦人会の真心のこもつた御馳走に一日を楽しく過ごし講演会では今立鉄雄、松丸志摩三両先生を招聘し、最後に郡市社会教育振興会主催による郡市社会教育大会を田沢小学校にて開催、特に講演は又と再び得られないものであつた。かくて計画された公民館事業は、冬期学級講座を残してほとんど終了致した訳であります。広範なる社会教育の部門から見ればほんの一部に過ぎないが陣容も整い、熱心なる役員の働きに期待をかけている次第であります。当局並びに村民各位の御支援を御願ひして年頭の辞と致します。

みんなが参加しよう
 例年行つて来ている村の年賀交換会は好評を得て年と共に参加者も多くなつて来ているが、今年も明日午前十時より田沢小学校において行ふ。

中里村役場

- 村長 高橋 幸作
 助役 滝沢 謙治
 収入役 広田富左衛門
 倉庫、貝野支所長 滝沢 謙治
 総務主任 富井 喜重
 庶務主任 志田 義三郎
 産業経済主任高橋 文平
 税務主任 山田 正平
 會計 鈴木 敏雄

村倉庫診療所

- 医師 中野 章人
 事務長 鈴木 惣勝
 外委員職員一同
- 中里農業委員会**
 会長 広田 要吉
 副会長 齊喜 政治
 農地地主 服部 輝雄
 柳 栄久
 外委員職員一同

各種団体長

- 民生常務委員 大島 孝平
 消防団長 鈴木国一郎
 田沢中学校長 板橋 亀治
 倉庫中学校長 高橋 寅次
 貝野中学校長 徳永 泰三
 田沢小学校長 狩野 利雄
 高道山小学校長 田中富士松
 倉庫小学校長 高橋 英男
 倉庫小学校長 石沢 藤栄
 貝野小学校長 高橋 英男
 十日町高校 関口 義平
 田沢分校主任 関口 義平
 青年会長 村山 武
 連合婦人会長 高橋 敏子
 連合PTA会長 藤田 五郎
 田沢地区婦人会長 吉桑 五郎
 倉庫地区 鈴木 敏
 貝野地区 吉桑 フジノ
 高道山地区 鈴木 キミ
 清津峡地区 山本 イク
 商工会長 樋口保太郎
 田沢小PTA会長 上村 賢造
- 国民健康保険**
 中里村 高橋 幸作
 外委員職員一同
- 倉庫校** 齊喜 政治
高道山校 村山 宗一郎
貝野小 齊藤 大馨
清津峡 村山 一
土倉校 山田 金松
田沢中 村山 重行
田沢中 中島 迪治
貝野中 大島 孝平
連合遺族会長 小柳 善作
田沢地区 岡村 弘美
倉庫地区 齊藤 大馨
貝野地区 齊藤 大馨
球土土地改良区 理事 広田 要吉
苗木組合 山田 良作
苗木組合組合長 村山 重行
狩猟組合 井口 清一
農林省食糧事務出張所 中林 元平
営林署田沢担当員 小泉 章三
営林署倉庫 田村喜八郎
貝野農業協同組合 組合長 羽鳥 隆吉
縁会々長 樋口 キイ
傷痍軍人会 上原 国一
身体障害者協議会 服部 武夫